

祝！100歳！1月に100歳の誕生日を迎えた2人の方をご紹介します。



秋元かよさん(大正12年1月13日生まれ)

秋元かよさんは、深浦町大字深浦生まれ。夫の春男さんと結婚し、子ども4人、孫7人、ひ孫13人に恵まれました。

秋元さんは食べ物の好き嫌いがなく、毎日、適度な運動をしながら健康維持に努めているそうです。

耳が遠いのでテレビの画面を見るだけですが、毎日ナンプレをしたりして過ごしているとのことでした。



▲グループホームじらかみのさとの越前理事長から賞状が手渡されました

米谷イソさん(大正12年1月18日生まれ)

米谷イソさんは、幼少期は満州で生活し、引き揚げ後は、祖母が住む柳田で生活をしました。その後結婚し、1男2女の子宝に恵まれました。

若い頃は、土木作業員として働き、その後は祖母が営んでいた商店を引き継ぎ商売していたとのことです。

ホームでの生活は生活全般に介助を要するも、温厚な性格で地元の顔なじみの入居者と会話を楽しんでいます。

「秋の叙勲」受章者を紹介します

各分野で町発展に貢献された3人の方が「秋の叙勲」を受章されました。



瑞光双光章

◆安田 悠宏(関)

安田さんは約40年にわたり保護司として更正保護活動に尽力され、犯罪や非行のない誰も安心して暮らせる「明るい地域社会づくり」に貢献されました。その功績が認められ瑞光双光章を受章されました。



瑞光双光章

◆藤田 光紀(広戸)

藤田さんは長年、自衛官として勤務し、退職後は町の危機管理専門員として防災管理に尽力されました。その功績が認められ警察官、自衛官など危険性の高い業務に従事した元公務員を対象に贈られる「危険業務従事者叙勲」の瑞光双光章を受章されました。



瑞光单光章

◆斎藤 正(柳田)

斎藤さんは長年にわたり消防団員として、豊富な知識と経験を活かして消防団員の指導育成や消防力の強化に努めてきました。その功績が認められ瑞光单光章を受章されました。

さあ、焚火台を持って出かけよう！
日本一のキャンプファイヤーへ！

ULTRA FIRE FESTIVAL



▲焚き火を楽しむ親子連れ



▲「ファイヤーに吠えろ！」
で思いのたけを叫ぶ参加者

冬イベント「ULTRA FIRE FESTIVAL」がアオーネ白神二湖で開催されました。当日はあいにくの雨となりましたが、冬キャンプ、クイズ大会といった企画のほか、棒パン体験やキッキンバーなどの「食」を満喫できるイベントとなりました。

また、8月豪雨災害時に流出した流木が使用された、メインイベントの大キャンプファイヤーでは高さ約7メートルの自称「日本一の巨大キャンプファイヤー」が登場し、会場を賑わせいました。



▲キャンプファイヤーをバックに行われた近藤金吾氏の特別ライブ

ウルトラファイヤーフェスティバルが開催されました！